

## みずほマーケット・トピック(2023 年 1 月 6 日)

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、週半ばから後半にかけて上昇した。週初2日、主要国市場が休場となる中、ドル/円は130円台後半でじり安となった。3日、ドル/円は東京休場で流動性が低い中、日銀による物価見通しの上方修正観測が意識され、早期の金融緩和政策修正への期待感から円買い相場となり、一時週安値となる129.51円まで下落した。129円台を記録したのは2022年6月以来となった。海外時間は、米金利上昇を受け131円付近まで上昇した。4日、ドル/円は前日から米金利が低下して、一時130円を割り込んだ。海外時間には、米11月JOLT求人件数が市場予想を上回ったことを受け、ドル買い優勢となり、132円台後半まで上昇した。5日、ドル/円はドルの戻り売りで131円台後半に下落した。海外時間は、米12月ADP雇用統計や米新規失業保険申請件数の堅調な結果を背景に、米金利上昇とともに一時週高値となる134.04円まで上昇。しかしその後は、ブラッドセントルイス連銀総裁が政策金利は十分に抑制的な水準に近いと発言すると、米金利上昇の一服とともに133円付近まで値を下げた。本日のドル/円も、133円台前半での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、堅調な米経済指標を受け下落した。週初2日、主要国休場の中ユーロ/ドルは1.06台後半でじり安推移となった。3日、ユーロ/ドルは、独12月消費者物価指数の発表を控える中、インフレ軟化への期待感からユーロ売り・ドル買い相場となり1.05台前半に下落した。4日、ユーロ/ドルは米金利低下を背景に1.06台前半まで上昇した。しかし、NY時間には堅調な米経済指標を受け、米金利の反転上昇とともにユーロ/ドルは1.06付近まで下落した。5日、ユーロ/ドルはドルの戻り売りで上昇。しかし、NY時間には良好な米経済指標や12月FOMC議事要旨でのタカ派な内容が材料視された中、米金利上昇とともに一時週安値となる1.0515まで下落した。本日のユーロ/ドルも、引き続き1.05台前半での取引となっている。

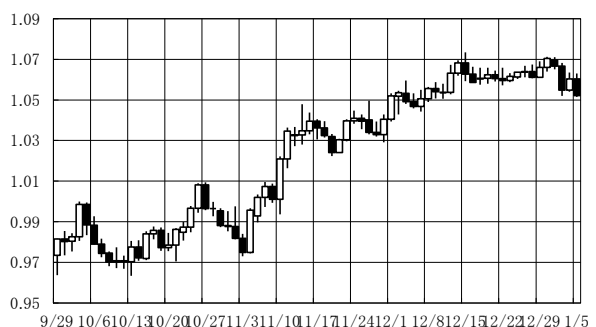
## 今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

|              |          | 前週末        | 今 週      |           |           |           |
|--------------|----------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|
|              |          | 12/30(Fri) | 1/2(Mon) | 1/3(Tue)  | 1/4(Wed)  | 1/5(Thu)  |
| ドル/円         | 東京9:00   | 132.94     | -        | 130.82    | 131.30    | 132.29    |
|              | High     | 133.09     | -        | 131.40    | 132.71    | 134.04    |
|              | Low      | 130.77     | -        | 129.51    | 129.93    | 131.69    |
|              | NY 17:00 | 131.11     | -        | 131.01    | 132.66    | 133.41    |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 1.0661     | -        | 1.0677    | 1.0546    | 1.0605    |
|              | High     | 1.0715     | -        | 1.0683    | 1.0635    | 1.0631    |
|              | Low      | 1.0639     | -        | 1.0520    | 1.0541    | 1.0515    |
|              | NY 17:00 | 1.0715     | -        | 1.0549    | 1.0605    | 1.0521    |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 141.74     | -        | 139.73    | 138.47    | 140.27    |
|              | High     | 141.81     | -        | 139.98    | 140.74    | 141.32    |
|              | Low      | 140.00     | -        | 137.45    | 137.89    | 140.01    |
|              | NY 17:00 | 140.40     | -        | 138.14    | 140.73    | 140.40    |
| 日経平均株価       |          | 26,094.50  | -        | -         | 25,716.86 | 25,820.80 |
| TOPIX        |          | 1,891.71   | -        | -         | 1,868.15  | 1,868.90  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 33,147.25  | -        | 33,136.37 | 33,269.77 | 32,930.08 |
| NASDAQ       |          | 10,466.48  | -        | 10,386.99 | 10,458.76 | 10,305.24 |
| 日本10年債       |          | 0.41%      | -        | -         | 0.45%     | 0.42%     |
| 米国10年債       |          | 3.88%      | -        | 3.75%     | 3.69%     | 3.72%     |
| 原油価格(WTI)    |          | 80.26      | -        | 76.93     | 72.84     | 73.67     |
| 金(NY)        |          | 1,826.20   | -        | 1,846.10  | 1,859.00  | 1,840.60  |

## ドル/円相場の動向



## ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- 米国では、本日 12 月雇用統計が公表予定となっている。前回 11 月は非農業部門雇用者数が+26.3 万人(前月比、以下同様)と 10 月(修正後:+28.4 万人)からは伸びが鈍化も、市場予想の+20.0 万人を上回る結果だった。民間サービス部門が+18.4 万人で、娯楽・宿泊部門や医療部門など幅広い業種で増加も、伸びは鈍化。財部門も+3.7 万人と伸びは鈍化。一方、政府部門は+4.2 万人と伸びが加速。失業率は 3.7%と、前月、市場予想と一致した。また、労働参加率(労働力人口÷生産年齢人口)は、就業者数や失業者数の減少を背景に 62.1%と 3 か月連続の低下。加えて、平均時給は+0.6%(前月比、以下同様)と 10 月から加速、市場予想の+0.3%も大きく上回った。総じて労働市場逼迫や賃金上昇圧力の継続を確認できる結果だった。サービスインフレの鈍化を見通すうえで、賃金動向には注意を払いたい。

また、12 日(木)には 12 月消費者物価指数(CPI)が公表予定。前回 11 月の結果は、総合が+7.1%(前年比、以下同様)、コアベースが+6.0%となり、いずれも前月、および市場予想を下回った。総合は 5 か月連続、コアも前月に続いての鈍化。中古車価格等コア財価格の下落が顕著な一方、帰属家賃等コアサービス価格は粘り強さを見せた。前年 10 月以降、インフレの最悪期は過ぎた可能性が高いが、サービス価格の抑制については道半ばであり、その動向に注目が集まる。
- 欧州では、本日ユーロ圏 12 月消費者物価指数(HICP、速報)が公表予定。前回 11 月の結果(確報)は+10.1%(前年比、以下同様)と速報時点からは小幅に上方修正も、10 月の+10.6%からは鈍化。エネルギー、食料品、アルコール、タバコを除いたコアベースでは+5.0%と騰勢維持。総合ベースのインフレ率鈍化は、エネルギーの顕著な減速が主因で、懸案のサービス物価は前月の+4.3%から+4.2%と▲0.1%ポイントの減速に留まった。小さい幅のサービス物価の減速は直近 1 年間で経験しており、これが顕著に減速してこない限り、物価・賃金スパイラルの不安が払しょくされたとは言い難い。

|            | 本 邦                                             | 海 外                                                          |
|------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 1 月 6 日(金) | ・12 月サービス業 PMI(確報)                              | ・ユーロ圏 12 月消費者物価指数(速報)<br>・米 12 月雇用統計<br>・米 12 月 ISM 非製造業景気指数 |
| 9 日(月)     | —————                                           | ・ユーロ圏 1 月センチックス投資家信頼感指数<br>・ユーロ圏 11 月失業率                     |
| 10 日(火)    | ・11 月家計支出                                       | ・米 12 月 NFIB 中小企業楽観視数                                        |
| 11 日(水)    | ・11 月景気動向指数(速報)                                 | —————                                                        |
| 12 日(木)    | ・11 月経常収支<br>・12 月景気ウォッチャー調査<br>・日銀地域経済報告(1 月分) | ・独 11 月経常収支<br>・米 12 月消費者物価指数                                |
| 13 日(金)    | ・日米首脳会談                                         | ・ユーロ圏 11 月鉱工業生産<br>・ユーロ圏 11 月貿易収支<br>・米 1 月ミシガン大学消費者マインド(速報) |

## 【当面の主要行事日程(2023 年 1 月～)】

日銀金融政策決定会合(1 月 17～18 日、3 月 9～10 日、4 月 27～28 日)  
 FOMC(1 月 31～2 月 1 日、3 月 21～22 日、5 月 2～3 日)  
 ECB 政策理事会(2 月 2 日、3 月 16 日、5 月 4 日)

市場営業部  
 チーフマーケット・エコノミスト  
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)  
[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

| 発行年月日       | 過去6か月のタイトル                                      |
|-------------|-------------------------------------------------|
| 2023年1月5日   | FOMC議事要旨を受けて～23年利下げへの支持はゼロ～                     |
| 2023年1月4日   | 2023年展望の「重要な前提」と「パス」のおさらい                       |
| 2022年12月23日 | 週末版(史上最大の円安の年を終えて～円高を「押し目」とする視座～)               |
| 2022年12月21日 | 日銀の政策修正に関する論点整理～日銀Pivot～                        |
| 2022年12月20日 | 米インフレ急減速を当然視する風潮は大丈夫なのか                         |
| 2022年12月19日 | 円安で注目したい対内直接投資のポテンシャル                           |
| 2022年12月16日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～「ターミナルレート3%」では不十分というメッセージ～)    |
| 2022年12月15日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年11月分)                    |
|             | FOMCを終えて～PCEピークアウトと利上げ停止時期～                     |
| 2022年12月14日 | 米11月CPIを受けて～円相場に対する見方は不変～                       |
| 2022年12月13日 | 23年、ドル/円相場のメインシナリオとリスクの要約                       |
| 2022年12月12日 | インバウンド復活は2023年春以降のテーマに                          |
| 2022年12月9日  | 週末版                                             |
| 2022年12月6日  | ECB政策理事会プレビュー～2つの注目点～                           |
| 2022年12月5日  | 「日本人の円売り」は一過性の懸念で終わるのか？                         |
| 2022年12月2日  | 週末版(135円台で考える「安い日本」～名目円高では解決しない根深い問題～)          |
| 2022年12月1日  | まだ警戒が必要なユーロ圏のインフレ情勢                             |
| 2022年11月29日 | ECB議事要旨を受けて～開き始めたFRBとの差～                        |
| 2022年11月28日 | FOMC議事要旨を受けて～利上げ幅縮小に新味なし～                       |
| 2022年11月25日 | 週末版                                             |
| 2022年11月24日 | 投機ポジションで見るドル・円・ユーロの概況                           |
| 2022年11月22日 | 消費増税以上の威力を示した40年ぶりのCPI                          |
| 2022年11月21日 | 最高難度の局面に挑むECB～多様な「不況下の物価高」～                     |
| 2022年11月18日 | 週末版(本邦7～9月期GDPを受けて～購買力の悪化は悲惨な状況～)               |
| 2022年11月17日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年10月分)                    |
| 2022年11月16日 | FRBは今、何を考えているか？～蘇る平均インフレ目標～                     |
| 2022年11月15日 | 実質ベースで考えるドル/円相場のオーバーシュート                        |
| 2022年11月14日 | ユーロ相場の現状と展望～金利・需給面の整理～                          |
| 2022年11月11日 | 週末版(2022年度上半期の経常収支状況を受けて～所得収支の還流が最後の手札～)        |
| 2022年11月10日 | 金利面から見たドル/円相場の現状と展望                             |
| 2022年11月9日  | ユーロ圏経済の近況について～スタグフレーションの淵～                      |
| 2022年11月4日  | 週末版                                             |
| 2022年10月28日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～政策間の整合性が問われる状況に～)              |
| 2022年10月27日 | ECB政策理事会プレビュー～再投資の行方～                           |
| 2022年10月25日 | 製造業の国内回帰報道をどう理解するか？                             |
| 2022年10月24日 | 圧倒的なファンダメンタルズ～円高は押し目という新常識～                     |
| 2022年10月21日 | 週末版(半分になった円の価値～150円到達で何を思うか～)                   |
| 2022年10月19日 | 天然ガス価格上限設定について～史上最も厳しい冬～                        |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年9月分)                     |
| 2022年10月18日 | 通貨高競争の足音～G20議長総括から何を讀むか～                        |
| 2022年10月17日 | トラス英政権の軌道修正～機能した市場のアラーム～                        |
| 2022年10月14日 | 週末版                                             |
| 2022年10月13日 | FOMC議事要旨を受けて～2023年も高金利～                         |
| 2022年10月12日 | 「季調済み経常収支、2か月連続で赤字」の意味                          |
| 2022年10月11日 | 年初来ピークに達したイタリアの対独スプレッド                          |
| 2022年10月7日  | 週末版(国連の正論をどう受け止めるか～とはいえ利上げ停止は不可能～)              |
| 2022年10月6日  | 水際対策完全撤廃を前に論点整理                                 |
| 2022年10月4日  | 散見され始めたドル暴落説を検証する                               |
| 2022年10月3日  | 「世界第2位の対外純債務国」の命運は政治次第                          |
| 2022年9月30日  | 週末版                                             |
| 2022年9月27日  | 伊メローニ新政権、現実路線への修正は可能なのか？                        |
| 2022年9月26日  | 英トラス新政権、「成長に賭ける」という危険な賭け                        |
| 2022年9月22日  | 週末版(FOMCを終えて～「春になれば円安は止まる」の真実味～)                |
| 2022年9月20日  | EUは冬を乗り切れるのか～結局、節電頼み～                           |
| 2022年9月16日  | 週末版                                             |
| 2022年9月15日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年8月分)                     |
|             | 円安抑止としての日本版HIAの可能性                              |
| 2022年9月13日  | 鎖国政策終了とその後の課題                                   |
| 2022年9月12日  | 動き出す家計部門の外貨運用～金融教育の先に～                          |
| 2022年9月9日   | 週末版(ECB政策理事会を終えて～スタグフレーションとの闘いに挑むECB～)          |
| 2022年9月7日   | 金利差が本当にテーマになるのはこれから                             |
| 2022年9月6日   | ノルドストリーム1の再開延期とユーロ安                             |
| 2022年9月5日   | 円安更新はどこまで続くのか～140円台突破を受けて～                      |
| 2022年9月2日   | 週末版(ECB政策理事会プレビュー～50bpか75bpか～)                  |
| 2022年8月29日  | ジャクソンホール経済シンポジウムを受けて                            |
| 2022年8月26日  | 週末版(劣化する欧州経済の現状～読めないエネルギー供給とドイツのリセッションリスク～)     |
| 2022年8月24日  | 水際措置の緩和の評価～問題は上限ではない～                           |
| 2022年8月23日  | パリティ割れと欧州のインフレ動向について                            |
| 2022年8月22日  | 顕著になる鎖国政策の副作用                                   |
| 2022年8月19日  | 週末版                                             |
| 2022年8月18日  | 過去最大を更新し続ける貿易赤字                                 |
| 2022年8月17日  | 生産者物価指数(PPI)と交易条件と円相場                           |
| 2022年8月16日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年7月分)                     |
|             | 本邦4～6月期GDP～形ばかりの「コロナ前」回復～                       |
| 2022年8月15日  | 独経済は不況の淵に～ライン川の水位低下～                            |
| 2022年8月12日  | 週末版                                             |
| 2022年8月10日  | 独ライン川の水位低下とユーロ安リスク                              |
| 2022年8月9日   | 2022年上半期の国際収支統計を受けて                             |
| 2022年8月8日   | ECBの再投資柔軟化はどこまで可能なのか？                           |
| 2022年8月5日   | 週末版(ドル/円相場の近況をどう考えるか～歴史的な大相場は調整も非常に大きい～)        |
| 2022年7月29日  | 週末版(米4～6月期GDPの読み方～リセッション判断は尚早～)                 |
| 2022年7月27日  | IMF世界経済見通し(7月改定)を受けて                            |
| 2022年7月25日  | ドル/円相場の近況をどう評価するか？                              |
| 2022年7月22日  | 週末版(ECB政策理事会を終えて～前門のインフレ、後門のリセッション、TPIという二番煎じ～) |
| 2022年7月20日  | ECB は7月+50bp利上げに舵を切るのか                          |
| 2022年7月19日  | パリティ割れの背景整理～歴史に学ぶ教訓～                            |
| 2022年7月15日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年6月分)                     |
|             | 週末版(ユーロ圏景気とユーロ相場の展望～ユーロ安でこずるインフレ抑制～)            |
| 2022年7月14日  | 米インフレ加速も住宅市況には変調の兆しも                            |
| 2022年7月12日  | やはり顔を出し始めた新規感染者主義                               |
| 2022年7月11日  | リフレ政策の今後～悲報との因果関係はなし～                           |